

会 議 録

1 会議名

第9回浦川原区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 報告（公開）

ア 会長報告

（報告なし）

イ 委員報告

（報告なし）

ウ 市からの報告

- ・浦川原小学校後援会の設立について
- ・浦川原区町内会長連絡協議会・浦川原区地域協議会合同研修会の開催結果について
- ・地域活動フォーラムの開催結果について
- ・鳥インフルエンザに関する浦川原区の対応について
- ・市の側溝グレーチング蓋の盗難について
- ・後期出張なんでも懇談会について

(2) 協議（公開）

ア 中学生との意見交換会で寄せられた意見の取扱いについて

イ 浦川原区地域協議会だよりの発行について

ウ 次回の開催日時等について

(3) その他（公開）

ア 上越市のごみ袋の問題について

イ 地域活動支援事業について

ウ 県道柿崎・牧線の通行止めについて

3 開催日時

平成28年12月20日（火）午後6時30分から午後7時25分まで

4 開催場所

浦川原保健センター 多目的ホール

5 傍聴人の数

3人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員：五十嵐広美、池田幸博、市村一雄、金子百合江、杉田和久、西山康博、藤田憲経会長、前島邦子、村松清、村松進副会長、和栗恵子副会長
- ・事務局：浦川原区総合事務所奥田所長、岩野次長、総務・地域振興グループ西山グループ長、産業グループ山崎グループ長、建設グループ小林グループ長、教育・文化グループ南雲グループ長、総務・地域振興グループ飯野班長、宮川班長

8 発言の内容

【藤田会長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上が出席しているので、会議が成立する旨を報告。
- ・出席者は11人。欠席委員は福井委員。
- ・会議録の確認：前島邦子委員

【藤田会長】

それでは「2 報告」に入る。「(1) 会長報告」は本日の報告はなし。続いて「(2) 委員報告」で委員から何かないか。

【市村委員】

委員報告ではないが、協議していただきたいものがあるのだが、「3 協議」の中には「その他」の項目がなく出せる場所がないのだが、協議の中で出して良いか。

【藤田会長】

内容によるが、協議は協議として進めていきたいので、「4 その他」で出していただきたい。

【市村委員】

了解した。

【藤田会長】

それでは次に進めるが、何かあれば「4 その他」で提案いただきたい。次に「3 市からの報告」で「① 浦川原小学校後援会の設立について」と「④ 鳥インフルエンザに関する浦川原区の対応について」で南雲グループ長より説明いただく予定であるが、遅れて来られるということで、「② 浦川原区町内会長連絡協議会・浦川原区地域協議

会合同研修会の開催結果について」を先に西山グループ長から説明いただく。

【総務・地域振興グループ西山グループ長】

(資料2に沿って説明)

【藤田会長】

ご質問、ご意見は最後まで説明いただいてから受けたいと思う。それでは「③ 地域活動フォーラムの開催結果について」西山グループ長より説明いただく。

【総務・地域振興グループ西山グループ長】

(資料3に沿って説明)

【藤田会長】

続いて、「⑤ 市道の側溝グレーチング蓋の盗難について」小林グループ長より説明いただく。

【建設グループ小林グループ長】

この秋以降、市内の広範囲に渡り道路側溝などのグレーチング、いわゆる金属製の蓋だが、盗まれるといった事案が連続して発生している。この浦川原区内でも上岡、杉坪、飯室で発生したほか、報道等でご存知のとおり今月12日に今熊、山本、桜島地内でも発生している。また、今熊地内では14日にも確認された。

私どもでは被害の拡大防止に向けて、結束バンドでの結束、ペンキやスプレーによるマーキング、コンクリート蓋への転換等と合わせて巡回パトロールを実施している。先日は降雪もあり、なかなか発見しにくい状況ではあるが、このような事案を発見された場合には総合事務所までご連絡をいただきたい。あわせて、警察、駐在所から不審者や不審車両を見かけた場合には連絡をお願いしたいということで、ご協力をお願いしたい。

【藤田会長】

次に、「⑥ 後期出張なんでも懇談会について」西山グループ長より説明いただく。

【総務・地域振興グループ西山グループ長】

12月18日に浦川原地区公民館で後期出張なんでも懇談会を開催した。

今回は地域コミュニティの活性化をテーマに、区内のスポーツ団体、文化団体、また、区内で地域活性化に取り組んでいる団体の31団体に呼びかけを行い、当日は21団体、45人の参加をいただいた。

地域の現状等を説明させていただいて、情報共有を図った後に、各団体の課題や地域活性化に向けた取組状況、小学校の統廃合による影響などについて意見交換を行った。現在、事後のアンケートをとりまとめ中であり、次回の地域協議会にて、この懇談会で

行った意見交換の結果概要を報告させていただきたいと考えている。

【藤田会長】

それでは、①と④を除いて質問を受ける。

【金子委員】

グレーチングの盗難についてだが、なぜ他の区ではなく浦川原なのか。

【建設グループ小林グループ長】

私どもでいろいろな状況を把握して分析するところでは、合併前上越や市街地ではなく、中山間地でこういった事案が発生している。先ほど、この秋からと説明させていただいたが、最初に確知したのが大島区の田麦で1件あり、その後少しずつ西の方に来て浦川原区内で見られるようになってきたといった傾向がある。浦川原区内でも国道253号線を挟んで川南と川北で発生している。集落からは目立たないところを中心に狙われていると捉えている。

【西山委員】

現在、盗られたところは車が入れないなど不便をきたしているが、補修の計画や期間などの予定はあるのか。

【建設グループ小林グループ長】

盗難にあったところの補修だが、同じようにグレーチングの蓋をすると、また盗難に遭う可能性があり、そういったことを防がなければならないということで、結束バンドでの結束やスプレーによるマーキングなど行ったが、置き換えられるものはコンクリートの蓋をすることで復旧させていただいている。ただ、集水枡についてはそういうわけにはいかない。特別な大きさや規格であるため、再度グレーチングを架けさせていただくということで進めている。

順次進めさせていただいて、特に道路の側溝の部分については早急に対応して、既に蓋の欠けているところは終了している。

【西山委員】

特別、期間などは設けていないのか。

【建設グループ小林グループ長】

順次、早急に対応するという方向である。

【池田委員】

このグレーチングは高価であり、幅20cm×縦20cmの側溝に架ける2mの薄い2t荷重のものでも1枚1万円ほどする。通常、国道の脇や県道の脇などで使用されている

14 t 荷重や20 t 荷重などのグレーチングは一人で持てるか持てないものもある。

スプレーでマーキングして盗難予防に努めているといったお話や結束バンドで結束しているというお話もあったが、具体的にどのような形でしているのか教えていただきたい。

【建設グループ小林グループ長】

結束バンドやスプレーもそうだが、最初に簡単に持って行きづらいようにすることが大事だろうということで、2つ並んでいる場所については結束バンドで2つを一体にするような形で留めて、簡単に持ち上がらないようにしている。当初は比較的きれいな物が盗まれていて、残っているものを見ると汚れている物が残っていたりしていたということが見られたため、スプレーで印、マーキングを付けて「新しいものではない」というようにして、「我々も現場を見ている。」ということが、わかるように印を付けている。

今熊もそうだが、ペンキで真ん中や端の方で本体にかかるように、例えば市のマークなどで丸く印を付けるようなこともした。

【池田委員】

この盗難はグレーチングにかかわらず、敷き鉄板などもあり、一晩100万円ほどの盗難は簡単にできてしまう。そのために常にパトロールするということも、なかなか難しいことであると思うが、できるだけ知恵を絞っていただき、盗難予防に努めていただきたいと思う。

【藤田会長】

逆に言うと、このような公共物はお金になるのか。

【池田委員】

ものすごくお金になる。

【藤田会長】

廃品回収ではないが、何かルートなどあるのか。

【奥田所長】

私どもも正確なルートをつかんではいないが、それなりに売りさばくルートがあるだろうと思われる。一時期、北京オリンピックのころ鉄材が非常に値上がりして、至る所の工事現場から鉄材や銅線、いわゆる電気コードだがこれも盗まれるといった事件が多発した。それからしばらくは、そういった傾向はなくなってきていたが、今回のグレーチング、鉄などは、そのころから見ればそれほど高くなっていないと思われ、なぜこれ

だけ頻発しているのか私どももわからない。

上越市内の廃棄処理業者にも情報提供して、「不審なグレーチングが持ち込まれたら連絡をください。」とお願いしているが、恐らく県外ルートがあって、お金に変わる仕組みがあるのだらうと思われる。私どももこれ以上はわからない状況であり、盗む以上はお金になるのだらうと思っている。

夜中に盗まれるということで我々も限界があり、側溝本体とチェーンで結ぶなどいろいろあるが、手間とお金もかかるということで、相手が盗む気にならないような、どこかまで出てきても上越市から、浦川原区から盗まれたものだとはっきりわかるような形で抑止ができればということで、できるところから手当てさせていただいている。今後もパトロールには限界もあるが、できる限り対策は講じていきたい。上越市全体のエリアにも広がりつつあり、ただ、決定的に泥棒、犯人を捕まえるといったところまではできていない。

【藤田会長】

他にないか。ないようなので、次の「3 協議」に入る。「(1) 中学生との意見交換会で寄せられた意見の取扱いについて」村松進副会長から説明いただく。

【村松進副会長】

去る11月19日に中学生との意見交換会を行った。資料5に中学生から出た内容をそのまま記載している。これに基づいて地域協議会として自主審議で取り上げて良いのではと思われる。内容別に3つの内容で分かれていただいて、できること、できないことを決めていただきたい。2年生が対象で、あと1年間あり、生徒が卒業しないうちにフィードバックして、「私たちの言ったことで、これをやってくれた。」という方向へ持って行けば、来年も同じ2年生を対象にできると思う。

これをやっていかないと、地域協議会としては、ただ中学生から聞いても何もしてくれないということになってしまうので、皆さんから意見があればお願いしたい。できたら来年1月の地域協議会で審議したらどうかと考えている。

【藤田会長】

今、村松副会長から説明いただいたが、「浦川原区の産業と行政」、「浦川原と交通網」、「住みよい浦川原」という、3つのテーマで6班に分かれてやったわけだが、これを委員が3班に分かれて自主審議をしてフィードバックしていきたいという提案があった。自主的に我々地域協議会がどう消化して実現を図る、今後どう取り扱っていくかという問題の仕分けになるかと思うが、皆さんの意見を伺いたい。そして、1月の地

域協議会の中で具体的な審議をしていきたいという提案であった。

データを資料5で出していただいているが、これに基づいて1月から自主的に審議に入っていくということではよろしいか。

(会場内から「はい。」の声)

それでは正副会長で詰めさせていただいて、まとめて審議に入れる形にしたいと思う。

南雲グループ長がお見えになったので、報告の「① 浦川原小学校後援会の設立について」と「④ 鳥インフルエンザに関する浦川原区の対応について」合わせて説明いただく。

【教育・文化グループ／市民生活・福祉グループ南雲グループ長】

(資料1に沿って説明、続いて資料4に沿って説明)

【藤田会長】

①について何かご質問があれば受ける。よろしいか。それでは浦川原小学校の後援会が発足したということをご確認いただきたい。次、④についてご意見はないか。ないようなので、次に進める。「(2) 浦川原区地域協議会だよりの発行について」私から説明させていただく。

(資料6に沿って説明)

この資料は事前に皆さんにお送りして、誤字等の訂正のご意見をいただき、今この資料6となっている。これについて何か意見はないか。なければ1月1日付で発行したいと思っている。

続いて「(3) 次回の開催日時について」だが、1月26日(木)の午後6時30分から浦川原コミュニティプラザの市民活動室4・5で実施したいということでスケジュールに入れていただきたい。

次に「4 その他」だが、市村委員から願います。

【市村委員】

一つの例として聞いていただきたいのだが、今回、上越市のごみ袋の問題が表面化して、市長が謝罪するといったことがあった。これに関して、私は2度ほど総合事務所へ話をしている、「このままでいいのか。」と、後で大変なことになるのではないかという話をさせていただいた。実際に市長が謝罪するところまで来てしまったわけだが、これはこれとして、委員の一人としての形をとっても実際は上までは話がいかないということで、それでも浦川原の地域協議会委員として、全体をやっていかなければならないということであり、そのようなことをつくづく感じた。

実際、これが表面化した経緯はよくわかっていない。議会で議員と何かあったのかどうかよくわからないが、私は親心のつもりで穏便に、早めに行政サイドでやってもらえば良いということで、この協議会でも意見を言わなかったのだが、こういったことはどうすれば良いのか、行政がどうあろうと我々は言わないといけないのか、どういった流れがあったのか教えていただきたい。これからどうすれば良いのか、皆さんにお聞きしたい。前回から、議員の方にも傍聴に来ていただいているので、我々ももっと議員さんと連携をとっていかないと本当の意見が住民の皆さんから出ないのか、といった思いもある。その辺も含めてお話いただきたい。

もう一つ、毎年500万円ほどの地域活動支援事業費が出ており、我々も審議させていただいたが、本当に100万円、200万円単位の提案を審議した方が良いのか、50万円くらいの提案で10団体くらいの皆さんから手を上げやすくしてもらった方が良いのか、皆さんの意見をお聞きしたい。

【藤田会長】

ごみ袋の件は、事務所へ話を持って行ったが取り上げてくれなかったということか。

【市村委員】

最初は職員から「それは他からも出ていて、大丈夫だ。」と言われて、「それならいいです。」と私は引き下がった。しかし、11月に自宅でごみ袋が破れて、再度、事務所へ行った。そのときにグループ長にも話をしてほしいということで、動いてくれたと思うのだが、果たして、それが所長や本庁までいっているのか、言っても本庁が取り上げてくれなかったのか、その辺も含めて教えていただきたい。わからないということであれば、それはそれで仕方がないと思うが。

ただ、そういった問題をどのように我々委員が出していけばいいのか、悩んでいる。

【市民生活・福祉グループ南雲グループ長】

私も新聞で報道されている以上のことは承知していない。これまでの経緯だが、問題のごみ袋は「燃やせるごみ」と「生ごみ」の2種類であり、3月から5月に製造された、計28万組(1組10枚入)のうちの約30%である8万4千組が対象だと聞いている。7月の半ばころからごみ袋が破れやすいとの声が寄せられるようになり、それで判明したということである。

これまでに300件を超える問い合わせがあったということで、浦川原区では市村委員のご指摘の2件を含めて合計4件いただいている。市では11月末までに店頭のごみ袋、約4万組を回収し、現在、破れたごみ袋は無償で交換している。ただ、問い合わせ

等が相次いだにも関わらず、11月まで回収しなかったことや公表が遅れたことについて市議会で批判が相次いだということである。

生活環境課では不良品があるにもかかわらず4か月間も店頭から回収しなかったことについては、交換するための新しい袋を用意することができないということで、そちらを優先したということである。また、公表した上で市民に冷静な対応を呼びかけることもできたのではないかというご指摘に、以前にも同様の不具合があったということをも前例に、問い合わせのあった市民に個別に対処することで対応できると判断したということである。

いずれにしても、今回の対応はまずかったということで、13日の市議会厚生常任委員会で土橋副市長が謝罪と再発防止に向けた取組をするという答弁を出し、昨日の新聞にも掲載されていたが、市長から市民に対する謝罪と再発防止、職員の意識改革を指示したということである。

なお、12月15日号の広報上越の8ページで「市指定ごみ袋の一部の不具合品について」という見出しで、ごみ袋の交換について遅ればせながら掲載している。この中では、ご家庭の在庫品で不良品があった場合には、無償交換するというお知らせであり、レシートがあれば販売店で、なければ生活環境課でといったことも書かれているが、レシートのあり、なしにかかわらず、総合事務所まで問い合わせいただければ対応していくこととしている。

市村委員から8月と11月の2度ご指摘があり、1度目のときは私どもも十分承知していなかったため、こういったお話があったということで、本庁につないだ。そのときはご希望があれば回収に応じるといった内容で、その時点では、あまり問い合わせがなかったのだろうと思われるのだが、11月の時点では相当数の問い合わせがあり、すぐに回収に応じるということで、翌日には市村委員の所へ業者がうかがったかと思う。

ということで、市村委員からご指摘いただいた、「市民にもっと周知すべきなのではないか。」というお話は、私もまったくそのとおりだと思い、そのときに担当に指示したのだが、お知らせ等の時機を逸したという形で広報等には載せられなかったということである。そして、先ほど申し上げた経緯で、なかなか動けなかったのではないかと推察される。

遅ればせながら、12月15日号の広報上越で皆さんにお知らせしたということである。

【藤田会長】

今、市村委員のお話に対して南雲グループ長から「市の対応はまずかった。」という経緯についてはっきり申されていて、フィードバック、問題が出てから処置するまでの時間がかかり過ぎているといった反省もあり、議会でも取り上げられた。これは全市的なことでもあり、市村委員のご意見として伺って、地域協議会がこの問題をどう取り上げていくかということについては、市村委員から地域協議会への提案もなく、情報もいただいていたというので、これについては市村委員からのご質問で、南雲グループ長からお答えいただいたということで、いかがか。まだ他に何かあるか。

【市村委員】

最初にお話ししたように、これは一つの例ということでお話しさせていただいたが、今後、そういった思いがあった場合に、ここで話をして、皆さんで協議して良いのか、先ほども言ったが、親心ではないが事前に、大っぴらにする前にお話をした方が良いかどうか、教えていただきたい。

ごみ袋の問題が、どうこうということではなく、遠慮なく話を出して良いのかどうかというところをお聞きしたい。

【藤田会長】

当然、提案と審議ということであり、それを取り上げる、上げないは別として提案、審議ということでは、提案いただいて差し支えないと思う。それは地域協議会の本来の使命であり、遠慮なく提案いただきたい。

【市村委員】

もう一つの地域活動支援事業費で、50万円ということをしていっても良いのかどうかということである。

【藤田会長】

それについては、これから来年度の予算が通って地域活動支援事業の金額が決まる。そして、浦川原区地域協議会でどのように審議していくかということについて協議する。大まかなものは皆さんも一度審議していただいた経験もあり、その範囲の中でやっていくということで、ただ、具体的に金額をどう設定していくかということについては、浦川原区地域協議会では限定していない。その点については2月、3月の地域協議会の中や特別に提案があれば委員会を作り、そこで審議していくという方法もあるので、そのときにご提案いただければと思う。

【市村委員】

そういった話であれば、また改めて提案したい。

【藤田会長】

それでは、「4 その他」でほかに何かないか。なければ地域協議会を閉じたいと思うがいかがか。

【建設グループ小林グループ長】

県道柿崎・牧線の通行止めについて報告する。県の上越東維持管理事務所では19日の19時より主要地方道柿崎・牧区間の有島線、区間にして50mであるが、全面通行止めとした。これにより、有島と熊沢間で通り抜けができなくなっている状況である。しかし、横住から牧野峠を通り安塚へ抜ける県道等を迂回路としている。

今回の原因については、この場所は株式会社蓑和土建の資材置き場の付近になり、この東側の山の上の方にある田んぼの法面などが崩落して、近くの沢や農道を伝い土砂が流出して、県道の路面に影響を与えたということである。

現在、私どもでは、上越東維持管理事務所と連携して応急復旧を行うということで準備を進めている。今回、土砂が流出したことにより、上から流れてきている水が通っている管があり、これが土砂により塞がれて水の流れが変わって路面を洗い出している。泥水が県道に流れ出しているなどがあり、この部分も解消するべく応急復旧の対応に明日から入りたいと考えている。

これにより、上越東維持管理事務所より安全が確認されたら規制の解除ということになるが、現段階で具体的な規制解除の時期は未定であり、早急に解除できるように考えている。非常に多くの皆様にご迷惑をかけているところではあるが、ご理解とご協力をお願いしたい。

【藤田会長】

これについて、何かご質問や意見はないか。よろしいか。

(会場内から「はい。」の声)

私は月影地区に住んでおり、今の状況が長引くと非常に迷惑な状況である。事業所や130の戸数があり、3倍もかかって迂回するということはいかかなものかと思っている。先ほど小林グループ長にも個人的に申し上げたが、あの場所はしょっちゅう大水になり土砂崩れが起こる場所になっている。やはり山が荒れているということもあるだろうし、枝や葉っぱが溜まって一気に押し出され、法面も崩れるということだと思う。大雨が降るといつもそういった状況になるので、応急的処置ではなく抜本的な処置をお願いしたい。降雪があった場合、身動きがとれなくなるため早急をお願いしたい。

それでは第9回地域協議会を閉会する。

9 問合せ先

浦川原区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 025-599-2301 (内線 305)

E-mail : uragawara-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。